

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組みず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

日南市水道事業ビジョンに基づき、50年、100年後を見据えた効率的な運営を目指して、平成28年度に「日南市水道事業創設認可」を申請し、離島である大島地区を除く全ての簡易水道施設を上水道に統合した。しかしながら、大島地区においても、令和7年度中に簡易水道事業を廃止し、上水道に統合、または、飲料水供給施設に移管する予定である。

市民サービスの向上と業務運営の効率化、減量化、コスト縮減を図るため、水道施設管理業務やメーター検針業務などの一部を民間業者へ委託している。また、給水人口の減少や水道施設の更新、耐震化を見据え、「日南市経営戦略」に基づき、令和4年5月検針分より平均26.2%増の改定を行った。

よって、今後数年間は、安定した収支が確保される見込みを予測している。

一方で、給水人口の減少による収益の減少、起債償還利子の利率の高騰が予想されるため、現計画数値との乖離が生じる可能性が高いことから、経営の安定化のために、さらなる料金改定を想定し、「日南市経営戦略」の改定を令和7年度中に予定【計画期間R8～R17】している。

広域化については、これまで近隣自治体との検討を行ったことはないが、令和5年3月策定の「宮崎県水道事業広域化計画」に基づき、今後は、近隣自治体との検討を進めることも必要である。

今後も、現在の運営体制を継続するが、将来的には、職員の大量退職による企業会計職員の「定数削減」などが予定される場合は、「料金賦課」、「徴収業務」などの窓口業務を含めた包括民営化を「定数削減」の少なくとも2年前には、検討することとしているため、人事当局と協議したところである。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	簡易水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
●							

抜本的な改革の取組状況

取組事項	事業廃止						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 実施済 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実施予定 </div>		<p>(取組の概要)</p> <p>対象施設は、離島のため、給水人口も0人であり、規模的にも廃止し、上水道への統合、または飲料水供給施設への移管が妥当だと判断したため。</p> <p>(取組の効果額)</p> <p style="text-align: center;">7 百万円(年)</p>	<p>(全部と一部の別)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>全部廃止</th> <th>一部廃止</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ①診療所化・介護施設化 ● ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 ● ⑥その他 <p>(取組の効果額内訳)</p> <p>ランニングコスト3500千円 起債償還額 3500千円 上水道への統合の場合は、効果額はなし。事業継続のため</p>	全部廃止	一部廃止	●	
全部廃止	一部廃止						
●							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 検討中 </div>		<p>(取組の概要)</p>	<p>(検討状況・課題)</p>				

(実施(予定)時期)

令和			
8	3	31	
年	月	日	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえ、今後の経営改革の方向性

経営体制・手法については、平成27年度に策定した公共下水道事業経営戦略に基づいて実施している。しかし、計画と実施状況に乖離が生じていることから、令和3年度に経営戦略の改定を行った。広域化等については、県の計画に基づき今後検討していくこととしているが、近隣市町村との施設統合や区域統合については、計画に盛り込まれない見込みとなっている。

民間委託等については、処理場の施設管理は行っているものの、さらなる民間委託については、現在のところ未定である。

経営戦略の改定に当たっては、市内自治会長や学識経験者等で構成する日南市下水道事業等運営審議会において審議をいただき、次の答申をいただいた。

- 1 今後も財政シミュレーションによる検証を行い、将来を見通した下水道事業の安定的な運営に努めることを期待するとともに、適切な情報提供を行い、大幅な見直しが必要な場合には、速やかに当審議会を設置して再度審議するなど市民の理解を得られること。
- 2 使用料見直しなどについては、引き続き概ね5年ごとに検証いただくこと。
- 3 未普及地域の下水道整備や耐用年数を超過している施設や機器については、改築更新や効率的な修繕など、適切な維持管理に努めること。
- 4 経営安定化に向けて、さらなる水洗化の普及促進に努めること。 など

今後の運営については、答申の内容を踏まえ、着実に計画を実施することで、経営安定化を図ることとしている。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 実施済 ● </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実施予定 </div>	(実施類型) 汚水処理施設の 統廃合 <div style="text-align: center; color: red; font-size: 20px;">●</div>	(取組の概要) 農業集落排水処理施設の2処理 施設を廃止して、特環下水処理区 域へと統合。 (会計については令和2年度統合 済、施設統合は令和8年度予定)		令和 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">令和</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">月</td> <td style="text-align: center;">日</td> </tr> </table>	令和			2	4	1	年	月	日
	令和												
	2	4	1										
	年	月	日										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">処理場廃止あり</td> <td style="width: 50%;">処理場廃止なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●</td> <td></td> </tr> </table>	処理場廃止あり	処理場廃止なし	●									
処理場廃止あり	処理場廃止なし												
●													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">公共下水・流域下 水の統合</td> <td style="width: 20%;">公共下水同士 の統合</td> <td style="width: 20%;">集落排水・公共下水と の統合</td> <td style="width: 20%;">特環下水と公共下 水との統合</td> <td style="width: 20%;">その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </table>	公共下水・流域下 水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水・公共下水と の統合	特環下水と公共下 水との統合	その他					●		
公共下水・流域下 水の統合	公共下水同士 の統合	集落排水・公共下水と の統合	特環下水と公共下 水との統合	その他									
				●									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">汚泥処理の 共同化</td> <td style="width: 33%;">維持管理・事務 の共同化</td> <td style="width: 33%;">最適な汚水処理施設 の選択(最適化)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)									
汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)											
	(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳) 令和8年度までに施設統合を予定しているため、最終的な効果 額は、それ以降になる見込みである。											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 検討中 </div>	(取組の概要) <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>	(検討状況・課題) <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div>											

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	下水道事業	漁業集落排水施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当該事業における処理区域内人口は、平成21年度352人であったものが、令和6年度は231人まで減少しており、今後も人口減少が続くことが想定される状況である。

このように事業規模が小さいことから、民営化及び民間活用について、現在行っている維持管理業務等の民間委託以外は、現状において考えていない。また、広域化等については、県の計画に基づき今後検討していくこととしているが、現状では、近隣自治体との施設統合や区域統合等に関する内容は、計画に盛り込まれない見込みである。

このような状況から、令和4年度から公営企業会計を適用し、適正な経営管理を行うとともに、令和6年度に改訂した経営戦略に基づき、収支の状況を明確に把握したうえで、計画的な使用料改定を行い経営健全化を図ることとしている。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	下水道事業	特定地域排水処理施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当該事業における営業収益は使用料収入のみとなっているが、主に維持管理費用に充当していることから、一般会計からの繰入を受けて経営している状況である。

民営化及び民間活用については、受け皿となる企業がないことから、現在行っている維持管理業務等の民間委託以外は、現状において考えていない。また、広域化等については、事業の性質や近隣に取り組める処理区が存在しないことから、現状において考えていない。

このような状況から、令和4年度から公営企業会計を適用し、適正な経営管理を行うとともに、令和6年度に改訂した経営戦略に基づき収支の状況を明確に把握したうえで、計画的な使用料改定や事業内容の見直し等を行い経営健全化を図ることとしている。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
日南市	病院事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

抜本的な改革の取組状況

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

近年、コロナ禍の情勢において経営状態が見えにくい状況でありましたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられる等、徐々に通常診療体制への移行が進みました。その中で、当院では常勤医師や看護師を新たに確保し通常診療の機能の充実を図ったことで、医業収益を改善することができました。

しかしながら、医師・看護師の増員や人事院勧告に伴う給与引き上げによる人件費の増加、薬品や診療材料といった経費も増えており、医業支出は増加し経営は厳しい状況です。また、今後も物価高騰等が懸念され、不安定な経営状況は続く想定しております。

当院は、公立病院として民間機関では担えない不採算医療や地域の将来を見据えて必要な医療機能を提供し、地域医療の充実と安定を図るうえで、現行の病院運営を継続することが重要であると考えております。

令和6年3月に策定しました中部病院経営計画(2024-2027)を軸に、今後も地域に必要な医療体制を確保するための機能分化・連携強化を進めるとともに、収益の確保と費用の抑制に努め、経営力の強化を図っていきます。